

中央電気倶楽部月報

◎巻頭言

「ウクライナとロシアへの思い」

／株式会社関電パワーテック 代表取締役社長 中島 宏 氏

◎午さん会講演録

『大相撲番付鳴動

～令和五年大阪場所の見所～』

／産経新聞 東京本社 運動部 宝田 将志 氏

2023

5

Vol.851

中央電気倶楽部月報

令和五年五月一日発行 一般社団法人中央電気倶楽部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目二十五 電話〇六―六三四五―六三五(代) FAX〇六―六三四五―六八七七

倶楽部からのご案内

公開講演会開催のご案内

ロシアによるウクライナ侵攻開始から一年余り経過しました。ロシアとウクライナの関係は、中国と我が国との関係に類似する点があり、決して他所事ではないと言われています。特に、台湾問題をはじめ海洋進出を強める中国に対し、我が国はどうか対応すべきか理解しておく必要があります。

このため、航空自衛官としての豊富な勤務経験があり、わが国の防衛に関し、ご提言されておられるだけでなく、昨年、正論大賞も受賞された、織田邦男先生をお迎えし、ご講演をいただきます。

なお、この講演会は会員に限定せず、どなたでも自由に出席できる公開の講演会ですので奮ってご参加下さい。

日時 令和五年八月八日(火)

十三時三十分～十五時十分

場所 (一社)中央電気倶楽部 五階大ホール
『台湾有事と日本の課題』

講師 元航空自衛隊 空将、
麗澤大学 特別教授

織田 邦男 氏

聴講料 無料
申込方法 倶楽部事務局(三宅、更谷、藤川)へ

電話、FAXまたはEメールにて、聴講

希望者の所属団体名、役職名、氏名

をご連絡下さい。

登録させていただきます、当日受付時に

確認させていただきます。

令和五年七月三十一日(月)

ただし、先着二〇〇名様で締め切ります。

TEL〇六―六三四五―六三五(代)

FAX〇六―六三四五―六八七七

Eメール kuenkai@chuodenki-club.or.jp

～今回の倶楽部ならではの～

◎福知山城

ボランティアガイドによる案内をお楽しみ下さい。

◎グンゼ記念館

休館日に貸切りで見学します。
専任スタッフによる養蚕関連の道具や歴史的資料についての説明があります。

◎グンゼスクエア

資料館「歴史蔵」の見学や「あやべ特産館」にてお買物が楽しめます。
隣接のバラ園は120種のバラが咲き競い、見応え十分です。
(今年度もバラ祭り開催の予定)

春の会員ご家族婦人会見学は、武将明智光秀が作った城下町、福知山を訪ねます。
午前中は、光秀が築城した福知山城を見学。天守閣より城下町の名残を残した町並みを堪能していただきます。
ランチは、古民家風の食事処「丹波の奥座敷たかた荘」にて和食料理をお楽しみ下さい。

午後からは、綾部方面に移動し、アパレルメーカーグンゼの近代的洋風建築「グンゼ記念館」を見学いたします。
その後、グンゼスクエアにてグンゼの資料館「歴史蔵」等三つの蔵を見学。また隣接のバラ園を散策していただきます。
今回は参加者数枠を四〇名に拡大して開催します。お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

会員ご家族婦人会見学会ご案内

開催日

令和五年五月二十四日(水)【雨天決行】

集合 八時三十分 中央電気倶楽部一階 ロビー

行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル)

前：赤松PA(休憩)：福知山城

(見学)：たかた荘(昼食)：グンゼ

記念館(見学)：グンゼスクエア(見

学散策)：アロフト堂島前と大阪駅

(十七時三十分頃帰着予定)

定員 四〇名(同伴歓迎)先着順とします。

会費 会員 二、〇〇〇円

会員外(ご家族含む) 一五、〇〇〇円

(会費は当日ご持参下さい。)

【食事時の追加飲物は自己負担】

申込み 五月十七日(水)までにTELまたは

FAXで倶楽部事務局(更谷)までお

申し込み下さい。

TEL〇六―六三四五―六三五(直通)

FAX〇六―六三四五―六八七七

※開催日の前々日以降は、会費の半額をキャンセル料として申し受けます。

「ウクライナとロシアへの思い」

中島 宏

(株式会社関電パワーテック
代表取締役社長)



「へえー、あのひまわり畑はやっぱりウクライナやったんかー。」

ウクライナの女性がロシアの兵士にひまわりの種を渡そうとしている。それを拒む兵士に彼女は国に帰るように諭している。このBBCの報道に接して、今流に言えば、濃い顔美人の典型、ソフィア・ローレン主演のイタリア映画「ひまわり」を思い出した。画面いっぱい広がるひまわり畑をイメージしながら、思わずネットサーフィンして発見した。昨年二月のロシアによるウクライナ侵攻以降、ウクライナ大使館のホームページを見られて同様の感慨を持たれた方も多いと思う。そして、マスコミ報道等で、ソ連時代のウクライナの過酷な歴史を知り、長年の疑問「(映画の中で、)なぜ、侵略されたウクライナの女性がイタリア兵士を助けて家庭まで持つのか？」も徐々に解けていった。

ウクライナ語はもちろんロシア語も全くできないけれど、若い時からこの地域には何かしら強い親近感を覚えている。学生時代に岩波文庫で読んだショロホフの小説「静かなドン」の影響があると思う。この作品の舞台はまさに現在激戦が展開しているウクライナの東部周辺で、主人公達はそこに住むコサックの人々だ。この物語では、イデオロギーよりもコサックの社会・風俗・個人を軸に物語が躍動的に展開する。

ゼレンスキー大統領自身も、ウクライナのアイデンティティの一つにコサックを挙げておられると聞き及び、この圧倒的な物語に感動した記憶が鮮やかに蘇ると共に、勇敢で粘り強いウクライナの人々の姿がストンと腹に落ちた。

翻って、侵略しているロシアには、個人的には「なぜ？」との強い思いが拭えない。これも学生時代に読んだトルストイの作品群を貫く、戦争に対する深い疑問や怒り、そして人道主義と今の残酷なロシアによる侵略戦争とのギャップが余りに大きく、常に「なぜ？」がついて廻っている。

一九八九年にベルリンの壁が崩壊し、冷戦終結後にソ連が消滅して以来の個人的な夢がある。ウラジオストクからシベリア鉄道に乗ってタイガを横断し、世界一透明度の高い湖バイカル湖を訪れ、終点のサントペテルブルグでエルミタージュ美術館をゆつくりと見学し、南に下って、キエウの大聖堂、オデーサの階段を訪れ、締めはクリミア半島の保養地ヤルタでのんびりと過ごす、一大周遊旅行である。仕事のおかげで、ウクライナの兵站を支えるポーランドにはこれまで訪れる機会があったが、そこから東には進めていない。一刻も早くこのロシアによる侵略戦争が終結し、以前のように安心して旅行できる時代が戻ってくることを心から切望している。



「春の香り」 個人会員 土方 利洋 君

撮影者のひと言

四国・善通寺にある涅槃桜という早咲きの桜です。

ソメイヨシノを始め一般的に桜の花は匂いは余り強くないのが普通ですが、この涅槃桜は得も言われぬ香りを漂わせており、境内全体がその香りに包まれていると言っても過言ではありませんでした。

(写真部委員 土方 利洋)



産経新聞

東京本社

運動部

宝田 将志 氏

『大相撲番付鳴動』

『令和五年大阪場所の見所』

宝田 将志 氏 プロフィール

略歴 1977年 千葉県生まれ
早稲田大学教育学部卒業
2001年 産経新聞社入社
社会部を経て
09年 運動部
プロ野球や大相撲などの担当を歴任し、
12年より陸上競技の担当。
現在は他に体操競技などの取材にも
携わっている。
五輪は14年ソチ、16年リオ、21年東京と
冬季1回、夏季2回を現地で取材。

ラジオ放送 地域FMラジオ「渋谷のラジオ」で、「パーソナリティとして
ハンドボール番組「渋谷で2分間退場中」を放送中

著書 『四継 2016リオ五輪、彼らの真実』 (文藝春秋 2017年)
『アスリートの本質 最強スプリンターが語る勝敗哲学』 (竹書房 2021年)
※著者は北京五輪男子400mリレー銀メダリスト・
末續慎吾氏。編集に協力。

はじめに

今の番付は、たいへんアンバランスといってよいのか、珍しい形になっていきます。というのも、御嶽海が、肩のケガもあって大関から陥落。正代も勝ったり負けたりが続き、結局は大関陥落。したがって、今、大関は貴景勝ひとりです。そして上位がない状態で平幕が勝つよ

うになり、名古屋場所は逸ノ城、秋場所は玉鷲、九州場所は阿炎が優勝しています。平幕力士の三場所連続優勝は史上初です。二場所連続でも一九九一年、琴富士と琴錦が連続で平幕優勝したときの一度きりです。わたくしが子供の頃は、平幕優勝といえど今の鏡山親方である多賀竜が蔵前国技館で優勝したのが最後で、わたくしのなかでは「とんでもない

こと」「ほとんど起きないこと」だったのに、今は平幕力士が勝ちまくっている。ですから取材をする側としても、優勝力士の予想がつきにくくなります。また、平幕の初優勝となれば、その力士の来歴のようなことを振り返りながら「こんな力士です」という紹介原稿も書かなければならない。昨年は毎場所、毎場所がそんな感じでした。

今年の番付の姿

大関陣が次々に陥落してしまったことで、今年は一横綱、一大関という番付になりました。実に百二十五年ぶりの、ありえないといってもよいほどの番付になってしまっているわけです。江戸時代から、番付はランキングを意味しています。昔は東西に分かれての対戦でしたから、大関、関脇、小結の三役が東西にそろるのが番付の定番となっていました。横綱がいるようになってからは、トップに横綱がいて、それよりも少し多い人数の大関、そして関脇と小結がいるという形が一般化していたのですが、それが今は一横綱一大関になってしまった。

陥落した大関がだらしないからだという意見もあれば、よさそうな力士を上にあげればいい、上にあげていかなのがおかしいという意見もある。いろいろな意見はあると思いますが、ただ、番付というのはそのときの勢力図を反映したものですから、いないものはいない。一横綱一大関だからといって、不足している横綱と大関を補充しようというも

のでもない。番付を編成している審判部も痛し痒しで、やむなしなのだと思います。

一方、関脇と小結は渋滞状態になっていて、初場所は四関脇四小結でした。関脇から大関に昇格するには三場所ほど連続で二桁勝利をあげて、計三十数勝なら安定して大関を務められるだろうと判断される。しかし現状、そういう力士がいません。

関脇で勝ち越す力士がいて、小結で勝ち越す力士もいる。それぞれ八勝くらいをあげて、平幕上位で十番勝つ力士がいる。そういう平幕上位の力士の番付をあげなければならぬのですが、上が詰まっているという状況です。そうして今の四関脇四小結となっているわけです。ただ、通常、横綱二人、大関四人で計六人、

関脇と小結が二人ずつで四人、このトップテンくらいで三役が形成されていると考えれば、今はたしかに番付のバランスは悪いものの、それほど飽和していないのではないかという見方もできます。

少し前になりますが、鶴竜が大関に昇進したとき、史上初めての六大関誕生となりました。日馬富士、把

瑠都、稀勢の里、琴奨菊、琴欧洲がいて、横綱は白鵬ひとり。当時、記者として「大関が多すぎませんか？」と質問すると、「三横綱四大関、四横綱四大関の時代もあったのだから、一横綱六大関で七人は許容範囲だろう」と意見する相撲協会幹部もいました。審判部としても、今はしようがないという感じで編成をしていると思います。

春場所も同じような番付で、一横綱一大関三関脇四小結となっています。渋滞気味ではあるものの、その分、役力士の取り組みが増えると考えてもいいでしょうし、ここから誰が抜け出るかを楽しんでもよい。なかなか楽しい方ができる時期でもあるように思います。

横綱照ノ富士の状況

横綱が照ノ富士ひとりで大丈夫だろうかという話にもなりますが、今日、初日と二日目の取り組みを決める取組編成会議がありました。そこには膝を悪くしている照ノ富士の名前はありません。今場所は休場となりました。昨日、稽古場に出て稽古

をしていたようですが、宝富士に一勝四敗の出来。もう少し時間が必要な感じでしょうか。先場所の横綱審議委員会で、照ノ富士は春巡業くらいから参加できそうという報告があったっていたようです。それならさほど遅れている感じもないかと思えます。ただし、これだけ休んでしまえば、復帰場所は果たしてどうなるのだろうかという不安もあります。

伊勢ヶ濱親方が「来場所に照ノ富士の進退をかける」といつているのかいつていないのかはわかりませんが、親方のニュアンス、審判部のニュアンスで来場所の照ノ富士の位置づけがハッキリしてくるのかなという感じですが。五月は休まずに出てくるだろうとみているのですが、最低でも二桁勝利をあげなければ、三十歳を超えている照ノ富士は、そのまま引退の可能性も出てきます。シビアナ土俵になるはずですが。ただ、照ノ富士自身は精神的にたいへん強い力士です。期待を込めて、やってほしいと思っています。

もしもその照ノ富士がいなくなってしまうとなれば、それはおそらく史上初の事態であり、上がない戦いが全勝もしくは一敗までというハイレベルな優勝なら横綱昇格も、と場所前は期待されていましたが、十二勝では、「もう一場所見なければ」となるのが妥当かもしれません。

ここ最近、貴景勝の調子が尻上がりでよくなっている要因の一つは、身体のコンドিশョンが整っていることです。首を痛めていたりして怪我がちなのですが、右足首と大胸筋の状態はよくなっています。さらには、埼玉栄高校出身で貴景勝の先輩にあたる元大関の豪栄道、武隈親方の元に出稽古して先輩後輩でいろいろと話をしているのがよい刺激になっているようで、出稽古に行くようになってから調子が整ってきたような印象を受けます。

横綱に昇進するには、はじめに相撲協会で番付や取組みを担当している審判部が臨時理事会の開催を理事長に要請します。これを受け、相撲協会は諮問機関である横綱審議委員会に意見を求めます。横綱審議委員会が横綱推薦を答申すれば、そのときに横綱への昇進が決定です。ですから今場所、最後まで貴景勝が優勝を争う展開になったとき、千秋楽、

国場所の感に一層の拍車がかかる感じになるでしょう。照ノ富士にしても、あと五年、六年も続けられる力士ではありません。その意味では、バランスが崩れ、歪な形になっている番付も、それほど長くは続かない。この辺りも楽しんでいただければどうかと思います。過去、千代の富士、大乃国、旭富士、北勝海の四横綱時代がありました。皆さんもよくご存知の時代かと思いますが、千代の富士が引退してから次々に横綱が消えていく。次に曙が大関に昇進し、若貴時代に移行する前の平成三年、四年頃の状態に、今の番付の形は近いように思います。ただし、あの頃は武蔵丸しかり、若貴も二十代の関脇でした。明らかに「次はこの人たちがあがってくるぞ」というワクワク感がありました。今は「次は誰だろうね？」となっている。次が見えない分、より混沌とした時代にあるといえるかもしれません。

（貴景勝の綱取り）

今場所の最も大きなトピックは貴景勝の綱取り一点でしょうか。

審判部が臨時理事会の招集を要請したとなれば、横綱昇進への話が一気に動き出す。話が動き出せばほぼ確実です。ただし過去、貴乃花のときの例ですが、一場所目の優勝で「もう横綱にあげてはどうだろうか」という話が動き出したものの「待った」がかかり、そのときの昇進がなくなっただけでもあります。昇進の話が動き出したからといって、全部が全部通るわけでもありません。

横綱審議委員会が推薦の答申を出すには内規があり、ひとつめは「横綱に推薦する力士は品格・力量が抜群であること」です。横綱になれば推挙状がもらえるのですが、そこにも「品格・力量が抜群につき」云々としたためがあります。

相撲の世界の人たちはよく「品格・力量であって、力量・品格ではない」といいます。品格が先にあって、品格がなければ横綱としての資格はないというわけですね。

「横綱の品格とは何か」を問われると、横綱という日本人にとって最強にして最高の称号をいただくに値するかどうかは、日本人が持っている横綱像に合致するか否かというこ

直近の成績を振り返れば、春・夏場所は八勝止まりでしたが、名古屋場所は十一勝、秋場所は十勝、九州場所は十二勝で決定戦にのぞみ、阿炎に負けず。明けて今年の初場所は十二勝で三度目の優勝となりました。大関昇格時には三場所三十三勝が一応の目安ですから、名古屋場所から九州場所までは大関の務めを果たしている。ただし、横綱が休場していたり、他の大関がふがない状態でしたから、もう少し星が伸びてよいはずだという意見もあるかもしれません。

九州場所は阿炎に負けたものの同点優勝でした。続く初場所では優勝していますから、貴景勝ファンにしてみれば「横綱にあげてもいい」と見ているかもしれませんが、九州場所での同点優勝は照ノ富士がいませんでしたし、むしろ優勝争いを引く張る存在でいなければならなかったにも関わらず、追う展開の末に追いついた。しかも平幕に優勝をさらわれてしまっている。加えて十二番しか勝っていない。横綱に昇格させるには物足りないという評価を審判部がしているように思います。初場所

とが多分にある。日本人の感覚なのだと思います。

二つめは「大関で二連続優勝をした力士を横綱に推挙することを原則とする」ということです。

三つめは「第二項に準ずる好成績を挙げた力士を推薦する場合は、出席委員の三分の二以上の決議を必要とする」となっています。一般には「二場所連続優勝、もしくはそれに準ずる成績を残した力士」とマスコミでも説明していますが、微妙なラインがここにあり、よく問題になります。

過去の例を見れば、旭富士以前、北勝海、大乃国くらいまでは、最後が優勝ではなくても「準ずる成績」に該当するとされ、横綱に昇進しています。大乃国（芝田山親方）は全勝優勝のあと、次場所、次々場所も優勝に絡むような好成績をあげ、十分に横綱を務められると判断されました。それが旭富士以降、平成になつてからは二場所連続優勝での横綱昇進となっています。北尾の不祥事がこの因とされています。

北尾は連続優勝していないまま横綱に昇進しました。その北尾が部屋

でトラブルを起こし、横綱を辞めることになった。ここから横綱昇進の基準が厳しくなり、二場所連続優勝が原則となったといわれています。実際、旭富士、曙、貴乃花、若乃花、武蔵丸、朝青龍、白鵬、全員が連続優勝という大きな関門を突破しての横綱昇進でした。

ただ最近では、鶴竜は優勝同点、優勝で、稀勢の里は大関で安定した成績を残していたことも踏まえ一度の優勝でそれぞれ横綱昇進。二場所連続優勝の原則にさほど縛られない傾向になっている感じがしますから、貴景勝も状況によれば、優勝ではなくとも横綱にあがる可能性はあります。

照ノ富士は二場所優勝しています。一場所目は関脇でした。関脇で優勝、大関で優勝、そして直前は名古屋場所でも最後に白鵬に負けたものの、十分に横綱を務められると判断されて昇進しました。過去の例をみれば、三場所前の成績はあまり関係がないように、直前の二場所が強ければ、一気に横綱へのぼっていく。「強いなあ」「強くなったなあ」というイメージを相撲協会の審判部、他

の力士たち、日本中に知らしめることができるかが横綱昇進を決めるといっても過言ではないと思います。

（貴景勝を見る周囲の視線）

貴景勝が三度目の優勝をした初場所後、少し前に伊勢ヶ濱親方からの交代で就任した佐渡ヶ嶽審判部長は「横綱昇進についてわたしたちは何ともいえない。星もあるし、相撲内容も。」と語り、慎重な姿勢を示しました。「次が優勝なら昇進だ」とはなっていないことに、わたしたち相撲記者たちも驚きました。

佐渡ヶ嶽さんは審判部長になりたてだから慎重なのだという見方もできますし、優勝とはいえ十二番しか勝っていないことに対する率直な評価だろうという見方もできますが、そもそも純粋な押し相撲で横綱になるのは難しく、それで横綱になった力士といわれても、すぐには思い浮かびません。大正時代に活躍した栃木山まで遡らなければならぬだろうという先輩記者もいます。佐渡ヶ嶽親方のお父さんである琴櫻も、ぶちかましていく押し相撲でしたが、

日目は玉鷲です。幕内上位から三役はクセがあったり、実力がある力士ばかりですが、圧倒するくらいの力で勝てればなと思っています。

（大関候補の力士たち）

貴景勝の綱取りのメイントピックである一方、次は誰が大関になるのだろうかということも話題になる場所となります。本当にわからないのですが、取材をしながら感じている、わたくしの考える次の大関候補を何人かご紹介しておくことにします。

一番手は番付的にも東の関脇、若隆景です。七場所連続で関脇を務め、去年春場所では優勝。優勝決定戦での高安との熱戦を覚えている方もいらっしゃるかと思います。安定感といますか、八番を勝つ力はある。そこから二番、三番を上乗せしているかどうかは大関昇進がかかっているわけですが、相手の差し手に対して、手を下から押付け出ていく。最近では相手の研究もしていて、本人はあまり語りたがらず、訊いても狙いなどは話してくれませんが、まわしを取る相撲を志向しているの

差してから寄ったりしていくスタイルでした。八角親方（元横綱北勝海）も押し相撲スタイルではありませんが、差していましたし、武蔵丸も上位にあがるにしたがって突き押し一本ではなく、右を差して返したりしていました。曙も組んでも強かった。

貴景勝もその辺はわかっているように、今は四つのような安定感のある押し相撲を志向しています。大栄翔と比較すればわかりますが、他の突き押し型力士は力を相手に伝えるために前傾姿勢をとります。対して貴景勝は立ち気味に身体を落とし、あまり突っ込まないような姿勢で押していく。重い腰を活かして押していくスタイルを目指しているようです。稽古場でも右差しを得意とする隆の勝に右を差させておいて、組んだ状態から押し込んだりする。自分の型になれないときでも星を拾う稽古をしています。先場所の千秋楽、琴勝峰戦では前に出ながら左を差し、そのまま返しながら前に出てすくい投げを打つ。他にも何番か小手投げで星を拾っていましたし、少しずつ相撲の幅が広がってきているように感じます。それが今場所の大事

は確かなようです。ただし、相手もなかなか強い力士ばかり。大勝ちするところまではいっていませんが、今の努力が形になれば、大関昇進の可能性、十二分にあります。気になるのは、場所前に左わき腹を痛めている点です。テーピングをしていますが、それから、見た目ではわかりませんが、今場所、実際に相撲をとってみなければわからない状態です。稽古をしなければならぬ時期にセーブをしなければならなかったことがどういふふうに影響するか。そこが若隆景の今場所の見どころかもしれません。

次は同じ関脇の豊昇龍です。朝青龍の甥っ子です。彼も一年以上三役を務めていますし、九州場所では十一勝をあげました。三役で初めての二桁の星です。初場所は足首を痛めて休場したものの、場所中に復帰して勝ち越し。関脇の座を守りました。聞くところによれば状態がよく、どのくらいの星をあげるのか注目点となります。豊昇龍は、叔父さんと同じで足腰がたいへん強く、豪快な投げ技を打ったり、若干の劣勢で

ありますし、三役の経験も多い実力者です。問題は安定感といえますか、突き押しを外されてしまうときやうまく押し切れていないときがあることです。安定感が出てきたり威力が増してきたならば、一気に大関に昇進していくと思います。

最後は朝乃山です。今場所で幕内返り咲きはなりませんでしたが、場所前の稽古場では本場に強かった。出稽古に来た若隆景、霧馬山も相手にならないほどの強さでした。問題は、どのくらいの速さで上にあがってくるのか。朝乃山は照ノ富士や栃ノ心のようにケガで番付を落としたのではなく、不祥事で落としましたから、身体そのものに問題はありません。相撲の世界には「一番付なりの相撲しか取れない」という言葉があります。十両なら十両に見合った相撲しか取れないし、三役にあがれば三役に相応しい相撲を取るようになる。彼の場合もそうで、番付を戻していくにしたがい、落ちてしまった相撲勘を取り戻していくことが大事になるかと思っています。年齢は三十歳前後。年齢の問題もあって、本人ものんびりはしてられないという意

も打開する強さがあります。もちろん、気持ちも強い。年齢もまだ二十三歳前後と若いものですから、このままケガをせず、稽古を積みながら順調に身体が大きくなっていけば大関になる可能性は高いとみています。今は増量にも努めているようで、百四十キロ後半半くらいの重さになっているかと思っています。よく「相撲の型」といいます。この型になれば負けない、という得意な型です。今はまだ、豊昇龍にはその型がありませんが、いずれ自然にできていくような気もしています。この点も豊昇龍の成長の見どころかもしれません。「豊昇龍はこの型になれば一番力が出る」というものが、今後一年から二年のあいだで生まれ、「豊昇龍、この型になれば負けないな」というものがみえてくるようになれば、見方としては面白くなってくると思います。

三人目は霧馬山です。モンゴル出身で、今場所が新関脇でした。小結で三場所連続の勝ち越しをしていますから、実力は間違いありません。初場所も十一番勝っています。特徴は稽古熱心なことです。朝乃

山と稽古したり、若隆景や横綱とも稽古をつけてもらったり、出稽古をして強い力士に胸を貸してもらい、本当に一生懸命に稽古をしています。いずれ力がついてくれば芽が出てくると思っています。最近の好成績の要因としてあげられるのは悪くしていた膝の状態がよくなっていることです。あとは蓄膿症の手術をして、呼吸がしやすくなったのも大きく影響していると聞いています。

四人目は若隆景の兄、若元春です。穏やかな性格といえますか、「ザ・お相撲さん」というイメージです。細かいことにはこだわらない、神経質にはならないというイメージを、インタビューでも感じています。それが土俵の思い切りのよさに出ているのかもしれませんが。型は左四つです。左を差して右上手を取る型が強く、この型になればかなり強い。上位にも通用します。普通は左を差してから右を取るという手順なのですが、彼の場合は左を差しただけでも相撲を取るができる。問題は左を差すまでです。最近は立ち合いで突っ張ってみたりしていますが、ひよっ

気込みで稽古をしています。大関だけでなく、その上も狙えるかどうか。いづれ上がってくるのは間違いありません。紹介した力士たちがのんびり構えていれば、朝乃山が先に大関昇進を決めてしまう可能性はあります。本人は今年中に三役といっていますから、注目は来年辺りになるかもしれません。

〓 関西出身の力士

相撲協会の発表によれば、今場所、番付に載っている力士は六百三人です。最も多いのは東京の四十九人です。次いで埼玉、愛知となり、大阪は四番目に多い三十人です。兵庫は大阪に次ぐ二十九人となっています。三重を関西、近畿エリアだとすれば、三重は十四人、京都五人、奈良四人、和歌山四人、滋賀二人となっています。

幕内に限れば、貴景勝（兵庫）、宇良（大阪）、妙義龍（兵庫）の三人になります。

大阪の皆さんは、宇良に大きな期待を寄せているかと思いますが、最近では体重が増えてきて、今は百五十

としたら若隆景より先に大関になってしまいかもれません。ただ、いつも腰の状態がよくない。土俵際も強く、みていて好感の持てるお相撲さんです。

次は佐渡ヶ嶽親方の息子、琴ノ若です。お父さんが関脇琴ノ若、お祖父さんが横綱琴櫻。いわゆるサラブレッドで、横綱の孫だといわれて期待もされているし、本人も自分の血筋を当たり前のような感じで受け止めることができます。次の大関候補のなかでは、身体が一番大きい。膝のケガが心配されますが、身体のサイズ、スケールをみれば、上にあがっていく感じがします。二十五歳前後ですが、若貴時代にはその年齢で大関になっている力士は結構いましたし、貴景勝も二十五歳のときは大関だったと思います。本人からも「もうノンビリはしてられない」という感が出ています。コメントを聞いていると、自分に対して厳しく、目の前のやるべきことにフォーカスできている。あまりブレないタイプだと思っています。メンタル面ではよいものを持っていると思っています。

六人目は大栄翔です。優勝経験も

キロほどになっています。本人曰くは、このくらいがよい。体重が増えたことでこの一年、宇良も押す力が増したなと感じています。上体を倒したような低い体勢から押していく力がついています。結果として、相手も戦略を変えています。今までなら、宇良は足を取りにくるぞとか、立ち合いは少しズレながら入ってくるとか、宇良の動きを見ながら対応していましたが、押しの圧力が増したことで、その対応ができなくなっている。相手にすれば、ある程度強く当たらなければ、そのまま一気に押し切られてしまいかねないというイメージです。このイメージが強くなれば、逆にこれまでのようなスパイスの効いた立ち合いも活きてきます。ただ、先々場所くらいだと思っていますが、膝の調子があまりよくなかったようで、押せない相撲になっていました。しかし万全になれば、押しで攻めたり、翻弄したりという宇良の相撲の完成形が見られるかもしれません。楽しみです。体重が増えれば、やはり膝への負担も大きくなってしまうでしょう。十五日間を取り切る体力、コンディショニン

倶楽部だより

当倶楽部会館内における

節電協力へお願い

地球温暖化防止及び節電に寄与するため
クールビズに取り組んでいます。次のとおり節
電に協力いたしますので、皆様のご理解ご協
力を是非お願いいたします。

◆クールビズ実施

令和五年五月一日(月)から十月末日まで

◆大食堂・厨房、各事務所

照明、OA機器、空調等の節電

◆エレベーター

・本館エレベーターのうち一基を原則終日運
転休止とさせていただきます。

◆貸室

・使用開始一時間もしくは三〇分前の空調照明ON
・利用終了時の空調・照明・コンセントOFFの徹底
・不使用室の空調・照明OFF徹底

◆廊下・共用部分の照明

・照度を考慮した上での間引きを実施
・閉館以降の館内消灯の徹底



土井 委員長 挨拶



記念講演 早瀬 慶氏

三月二十四日(金)、当倶楽部は(一社)日
本電気協会関西支部との共催で、恒例の電
気記念日祝賀会を開催し、関係者一二七名
が五階大ホールに集いました。
記念式典では、土井義宏電気記念日行事
関西実行委員会委員長が「S+3Eすなわ
ち安全性、安定供給、経済効率性、そして環
境の同時達成を目指し、多様な取組みが展
開される中で、私たち電気関係者の役割は
ますます責任と重みを増し、かつ広がって
おります。私たちは、電気利用の安心と利便性
の向上、あらたな価値の創出、サービスの高
度化などを通じて、社会の発展に貢献でき
るよう、知恵を絞り、努力を重ねていかねば
なりません。」と挨拶されました。
その後、来賓祝辞に続き、電気記念日の由
来となったアーク灯とエジソンの竹フィラメン
ト電球(復元)の点灯式を実施。
続いて電気関係事業の傘寿功労者
四四七名を代表して小笹定典氏に感謝状が
贈呈されました。
そして、記念講演は、EYストラテジー・ア
ンド・コンサルティング株式会社 早瀬 慶氏に
「グローバルモビリティのトレンドと将来像」
をご講演頂き、祝賀式を終えました。

電気記念日を祝う

文化探究会見学会のご案内

文化探究会見学会は、奈良県のけいはんな
学研都市方面に出かけます。

午前中は平城宮跡内にある「平城宮いざな
い館」を見学。ガイドスタッフの案内にて、時空
を超えて奈良時代の平城京を体感していただ
きます。

ランチはゆつたりとくつろげる「なら和み館」
で和食のランチをお楽しみください。

午後は、「福寿園CHA遊学パーク」で石臼を
使ったお茶挽体験を楽しんでいただきます。

その後国立国会図書館関西館に移動し、ガ
イドスタッフによる説明で施設の概要や機能を
学びます。

※当見学会限定の特典として普段は入れない
書庫(バックヤード)を見学いたします。

開催日 令和五年六月二十日(火)【雨天決行】
集合 八時三十分 中央電気倶楽部一階 ロビー
行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル)前
：平城宮いざない館(見学・買い物)
：昼食：福寿園CHA遊学パーク
(お茶挽き体験)：国立国会図書館
関西館(見学)：アロフト大阪堂島前
と大阪駅(十七時三十分帰着予定)
二〇名同伴歓迎 先着順とします。

定員 二一、〇〇〇円
会費 二、〇〇〇円
会費外(家族含む) 一五、〇〇〇円
(会費は当日ご持参下さい。)

申込み 六月十三日(火)までにTELまたは
FAXで事務局(更谷まで)お申し込み
下さい。
TEL 〇六―六三四五―六三五六(直通)
FAX 〇六―六三四五―六八七七

※開催日の前々日以降は、会費の半額をキャンセ
ル料として申し受けます。

講演録 大相撲番付鳴動～令和五年大阪場所の見所～

CLUB GRAF

◎午さん会(12月2日)
『わが国のサイバー
セキュリティ能力の
現状と課題について』
NTTチーフサイバー
セキュリティストラテジスト
松原 実穂子氏

◎午さん会(12月9日)
『面白いほどスッキリわかる！
世界の気候と天気のかみ』
サイエンスライター
気象予報士 今井 明子氏

◎午さん会(12月16日)
『最近の電力需給と
その背景について』
関西電力株式会社
エネルギー環境企画室 担当部長
エネルギー環境政策グループ
チーフマネージャー 辻森 耕太氏

◎午さん会(1月27日)
『激動する世界情勢を
読む』
桃山学院大学 法学部教授
松村 昌廣氏

グ等、バランスを考えていく必要も
あるかと思っています。
次は妙義龍です。場所前はたいへ
んよい稽古をしていました。豪栄道
とは同期同学年で、同年代の力士の
ほとんどが引退してしまっている。
豪栄道、隠岐の海は引退し、残って
いるのは宝富士でしょうか。年齢に
触れると本人は怒ってしまうのです
が、自分に厳しい姿勢は評価できま
す。

武隈部屋に所属し、埼玉栄高校の出
身です。埼玉栄高の山田監督にいわ
せれば「性格のたいへんよい子で真
面目」。今一生懸命に稽古をしてい
ますから、いずれ上がってほしい力
士です。今場所、十両には朝乃山、
徳勝龍だけでなく、ケガで落ちてし
まった栃ノ心もいます。優勝経験者
が四人と、実力者ひしめく場所とな
るため、十両の優勝争いも混沌とし
た状態です。

皆さんにも注目してもらいたいと
思っています。
あとは落ちてしまった照強(兵庫)
です。糖尿などの体調面に心配があ
りますが、この辺も整ってくれば、
まだまだ老け込む年齢でもありませ
ん。
令和五年大阪場所、見どころはた
くさんあります。

(令和五年三月十日
講演抄録文責在記者)

会員増強にご協力を お願いいたします!!

会員の皆様には、会員増強にご協力いただきありがとうございます。

当倶楽部の発展のためには、会員企業の皆様そして個人会員の皆様の新入会員の紹介が何よりも大切です。

「明るく、親しみのある倶楽部」として会員皆様に倶楽部ライフを楽しんでいただき、大切な交流の場として活用いただけるよう事務局一同頑張つてまいりますので、何卒お力添えのほどよろしくお願いいたします。

ご入会希望の方には、事務局がいつでも伺いし説明いたしますので、ご紹介方よろしく願います。

(会費・入会金)

区分	会員区分	会費
入会金	指定会員	1社(団体) 7万円
	個人会員	新規入会 3万円
		2～5年未満 1万円
		5～10年未満 5千円
月額会費 会員一名	指定会員	10年以上 無料
		一律 5,000円
		毎月払い 4,300円
	個人会員	半年払い 4,050円
		年一括払い 3,800円

会議、セミナー、ミニコンサート等に 大ホール・会議室のご利用を!!

一〇〇年以上の歴史ある社交倶楽部、その会館の中のとろろぎに満ち、ゆつたりとした空間で、大切な会議やセミナー、講演会、展示会、ご商談、打合せに。また同窓会・OB会等の旧友との再会の場としてもぜひご利用ください。五階大ホールにはグランドピアノを備付けており、ミニコンサート会場として、そして、大スクリーンでシアター感覚のご利用とイベントにも多岐にわたりご利用頂けます。

当倶楽部は、交通の便も良く、低料金で十人程度からご利用が可能な大小二十二三室の会議室とお稽古事にお使い頂けます和室三室、そして椅子席三六〇席の大ホールまでございます。

また、インターネットでのネット会議・セミナーもできます。

専門スタッフが、会場設営、また機材のご利用説明を致しておりますので、安心してご利用ください。



(五階ホールのグランドピアノ)

ご利用後の会議室の消毒の実施も継続致しております。指の消毒・マスク着用のご協力をお願い申し上げます。

テナント入居募集中!!

当倶楽部では、電気関係事業、学術と文化、社会の発展に寄与することを目的として、諸団体に西館四階の事務所スペースに入居いただいております。現在一室(約五二坪)が空室となっており、パッケージエアコンを新調、またインターネット回線も利用可能となっております。

J.R. 地下鉄・私鉄からのアクセスも良く、利便性の高いロケーションにあります。

会員の皆様、事務所をお探しの団体様にお心あたりがありましたら、是非ご紹介下さい。お待ちしております。



連絡先
倶楽部事務局
Eメール: info-cd@chudenki-club.or.jp
(正田)まで。

食堂よりのお知らせ

長らく休業しておりました「えれき亭」を改装し、四月十七日(月)より営業を再開いたしました。

当面の間、メニューはすき焼きのみのご提供となります。新しく生まれ変わった「えれき亭」でえれき亭の代名詞でもあるすき焼きを是非ご堪能ください。

また、五月一日(月)より、一階喫茶にて当倶楽部特製の「黒部ダムカレー」をご提供させていただきます。今年、黒部ダム竣工六十周年にちなみ、長野県大町市のご当地グルメを是非ご賞味ください。

(黒部ダムカレー推進協議会公認)



B1F「えれき亭」すき焼き



1F「喫茶」黒部ダムカレー

※写真はイメージです。

電社会 春の見学会実施

四月六日(木)電社会(代表幹事 猪谷雄三氏)が春の見学会を開催し、兵庫県加東市の「パナソニックエコテクノロジーセンター」や神戸市西区の「神戸ワイナリー」などを訪問しました。

「パナソニックエコテクノロジーセンター」では、担当職員の案内のもと、使用済家電製品が分解され粉砕処理される様子を見学し、SDGsの観点から家電リサイクルの必要性、重要性について再認識しました。

加西市に場所を移し、「兵庫県立フラワーセンター」で昼食を楽しんだ後は、思い思いに庭園を散策し、色とりどりに咲き誇るチューリップを鑑賞しました。

その後訪れた「神戸ワイナリー」では、ぶどうの栽培からワインの醸造に至る工程についての説明を聞きました。G20夕食会で各国首脳に振る舞われたという神戸ワインを特別に試飲させていただき、深みのある味わいに皆さん大満足でした。

当日は天候が心配されていましたが、道中は雨が降ることもなく、有意義な一日を過ごすことができました。ご参加いただきました皆様、有難うございました。



パナソニック エコテクノロジーセンターにて

写真部撮影会 「彦根城」で実施

四月五日(水)に写真部は、天守や附櫓及び多聞櫓が国宝に指定された「彦根城」で撮影会を開催しました。あいにくの曇天模様の中なんとか天気はもちこたえ、一、一〇〇本のソメイヨシノが咲きほこる中での撮影会となりました。撮影会を前後しての「せんなり亭伽羅(きやら)」での昼食会では、おいしい食事をいただきながら、写真談議に花を咲かせました。



彦根城にて

写真部員募集

写真部では部員を募集しております。会員・非会員を問わず入部できますので皆様の入部をお待ちしております。もちろんスマホカメラもOKです。

会費 一ヶ月 一、〇〇〇円

撮影会 年四回 最近の主な撮影会…勝尾寺、京都植物園、大阪海遊館、園田競馬場、二尊院、須磨離宮公園

作品審査会・発表会 年一回

指導員 渡辺瑞男先生

(元朝日新聞写真記者)

*お申し込み・お問い合わせは、

倶楽部事務局(川村)まで。

電話 〇六二二三四五二三四

◎絵画部(水彩画)教室

四月度(五日・水曜日)の画材は、「春の風景」でした。

次回は五月十七日(水)「写生会」です。

中之島緑道の三井住友銀行本店の正面
当なりに十三時現地集合。
雨天の場合は、倶楽部にて。

◎囲碁部 例会(四月八日)

成績

三勝 八段 山田 進 君
二勝 四段 竹内 建 君

(参加者 五名)

(次回例会は五月十三日(土))

◎将棋部 例会(三月二十五日)

成績

三勝 六段 井上 清志 君

(参加者 五名)

(次回例会は五月二十七日(土)指導なし)

◎ゴルフ部第五六〇回 例会

(三月二十三日 雨 於茨木国際GC)

成績

優勝 松山 三雄 君
二位 佐藤 里織 君
三位 安田 均 君

・優勝コメント

前日から大雨の予測で、五〇組のうち三七組がキャンセルした茨木国際ゴルフ倶楽部にて、当日も雨天ということで危惧していましたが、中央電気倶楽部ゴルフ例会は誰一人欠席することなく四組にて決行いたしました。

ご一緒した宮田様・川口様とは雨天のことは忘れ、楽しく一日過ごさせて頂きました。おかげさまで、運よく優勝することができました。次回は、山本様・中野様のご紹介で伏尾ゴルフ倶楽部にて第五六一回例会が開催されます。ゴルフ同好会以外の会員様ご友人も奮ってご参加よろしくお願い申し上げます。
(次回は、第五六一回例会
四月十八日(火) 伏尾GC)

◎撞球部

・第一三六回三倶楽部対抗四球競技会
(四月一日
於(一社)大阪倶楽部 撞球場)

成績

優勝 清交社 栗社 森 震
二位 大阪倶楽部 △/△/○
三位 中央電気倶楽部 ×/×/○
※個人の勝ち数の差で清交社の優勝
(当倶楽部出場選手・六名)
村上 幸夫 君・佐々木 孝 君
池端 博 君・馬場 秀行 君
菱谷 泰三 君・富山 勝幸 君

・例会(四月六日)

成績

優勝 雑賀 幹人 君
二位 村上 幸夫 君
三位 高坂 定男 君
四位 大竹 一夫 君
五位 籠谷 勇 君
(参加者 十四名)

・優勝コメント

最近、手玉の撞点を外すことが多かったのですが、ある時これを見兼ねて、近くで見ている高持ち点の方が指摘して、撞く姿勢が基本型から崩れておりこれがブレの要因であろうと、細部にわたって修正して頂きました。

これに伴い安定した当たりが得られるようになり優勝に繋がりましたこと、お礼申し上げます。
(次回例会(春季大会)は五月十三日(土))

お詫びと訂正

先月号の成績掲載の中で、入賞者の誤りがございました。

お詫び申し上げますとともに訂正いたします。

(誤)優勝

二位 高坂 定男 君
三位 馬場 秀行 君
四位 籠谷 勇 君
五位 大竹 一夫 君

(正)優勝

二位 高坂 定男 君
三位 馬場 秀行 君
四位 籠谷 勇 君
五位 大竹 一夫 君
藤井 正規 君

◎俳句部

第八百四十八回 いなづま句会

俳誌「かつらぎ」主宰 森田純一郎先生指導
令和五年三月十八日
兼題 当季雑詠五句

選者 吟

選句する吾へと辛夷笑みにけり
脱稿の目に白蓮のいと白し
椰高き熊野に春の来たりけり
速玉社貝寄風抜くる猪の目かな
速玉社春夫の詩碑に春日射す

いなづま句抄

○流水やオホーソクいま浅葱色 富山 勝幸
○強東風や登船礼の艦加速 難波 正行
○老梅は前の万博知つてをり 渡邊 建彦
○島包む春玉ねぎの芳香かな 東代 舞
○暖竹のさゆらぎもなき冬の風 広田 祝世
○溝に捨てらるる金魚を拾ひやる 出店 智恵呼
○道具みな年代物や屋根替ふる 奥村 恵子
○点前する髪飾り揺れ梅花祭 友岡 淑子
○朝一番春光の射す天の窓 留岡 寛
○小春日や風一陣で冬戻り 野尻 弘輔
○囀や日の出の明かり待ち切れず 木下 貴友
供養塔はとりに椿散華とも 前野美枝子

(○印選者選)

(注)

脱稿(だつこう)・・・原稿を書き終えることで、ホツとしている様子。
椰(なぎ)・・・熊野速玉大社の御神木で、平和の象徴とされている。
貝寄風(かいよせ)・・・大阪四天王寺の聖霊会(旧暦二月二十一日)のころに吹く季節風のことで、供華の筒花を住吉の浜に吹き寄せられた貝殻で作ることからきている。
(季語)

猪の目(いのめ)・・・猪の目のようなハート形の図柄のことで、古来より魔除けのために寺院の屋根の両端にある破風の飾り板(懸魚)等に使われている。

春夫(はるお)・・・新宮出身の詩人 佐藤春夫のこと。熊野速玉大社に春夫の詩碑がある。
浅葱色(あさぎいろ)・・・緑がかった明るい青色のこと。葱の葉の色を薄めたような色からきている。
強東風(つよこち)・・・季語「東風」の傍題で、春になつて東から吹く風のこと。(季語)
登船礼(とうげんれい)・・・貴賓の送迎や遠航の軍艦、また特別の出入港に際して、乗員すべてを艦の両舷に整列させて敬意を表するもの。

暖竹(だんちく)・・・海岸で見かけるイネ科の植物で、葉がススキやササ、ヨシにも似ている植物。
梅花祭(ばいかさい)・・・季語「菜種御供」の傍題で、菅原道真の忌日に行われる京都北野天満宮の祭のこと。(季語)
散華(さんげ)・・・仏を供養するために花を散布すること。

敬 弔

個人会員(優待会員)

元日本アーム工業株式会社
現日本ネットワークサポート
常務取締役
榎本 雅夫 殿 (享年八十九歳)
三月八日 ご逝去

謹んで弔意を表します

他倶楽部案内

●●●●● 清交社の午さん講演会の
ご案内

会 場・・・ANAクラウンプラザホテル大阪
五階ガーデンルーム他

時 間・・・十一時三十分～十三時三十分

五月二日(火)

講題「京町家再生プロジェクト
〈アートなる建築〉を目指して」

「時代・世紀とともに変容する社会と住居」
建築空間デザイナー
金子 文子 氏

五月九日(火)

講題「社会の変化と日本の大学の将来」

「関西大学」の事例を踏まえて
関西大学理事長 芝井 敬司 氏

五月十六日(火)

「一〇〇周年記念フォーラム」開催のため休会

五月二十三日(火)

講題「調整中」

フードコラムニスト・あまから手帖編集長
門上 武司 氏

五月三十日(火)

講題「人生一〇〇年の医療と介護
～昭和平成と比較した令和の特徴
～危機と激動の時代～」

兵庫県立尼崎総合医療センター
名誉院長 藤原 久義 氏

※状況により中止になる場合があります。

◆出席ご希望の方は、当倶楽部事務局
(更合)に二日前までにお申し込み下さい。

◆会費/三、〇〇〇円(昼食代・消費税込後日精算
前日の午後五時以降は、キャンセル料が発生
します。
☆五月一日よりクールビズ